



## ニッケコルトンプラザ

# TDLのかわりに 日曜日を過ごせる SC出現

### カーマーケットを狙った 巨大SC

JR総武線・本八幡の駅から歩くこと10分ほど。住宅街の、自動車がすれちがうのもやつの狭い道を抜けていくと、いきなり通行量の多い市道に出て、突然ディズニーランドのような光景が出現する。まずは、「NIKKE COLTON PLAZA」と書かれたアーチのすぐ隣り、カーニバルプラザの建物が目を引く。ダスキンが経営する日本初のサーカス・レストランで席数900とかなり大きい。

どこの国の建物ともつかない無国籍なイメージは、コルトンプラザ全体に通底している。広々とした敷地には、人工の小川やモダンアート風のオブジェが置かれ、なんとなくメルヘン調ではあるが、デザインが幾何学的でモダンだ。強いて言えばカーニバル風といった雰囲気ですべて統一されている。

敷地は4万3,000坪と広大で、テニスコートやゴルフ練習場、住宅展示場、さらには神社まである。その中でも、駐車場の2,300台収容ということで、建物の1階部分は全部駐車場になっている。取材日は平日ということもあって、駐車場はまばら

だったが、おそらく日曜日は壮観であろう。あくまでも車で出掛けるというよりは、車でアクセスすべきショッピングセンターなのだ。

駐車場の外側にはタコタイム、ベッカーズなどといったファストフードが張り付いており、アメリカなムードを醸し出している。平日の夕方ということでそれほど混んではいないが、そこそこ中高生や子供連れの主婦が入っている。さらにそれを取り囲むようにファミリーレストランが散らばっているし、2階のデッキ部分にもレストランがあって、飲食については何度通っても回りきれそうにない。

### 食品売場1,000坪の迫力

建物の中はいちかわプラザと専門店街に分かれ、専門店街は3階まで、プラザは4階までである。吹き抜けが2ヵ所あるが、緑をうまく配して、カーニバル風のリボンを垂らすなど気持ちの良い空間になっている。ヨーグルトツリーの店があり、ベンチには老人が腰掛け、広場を子供達が駆け回っている光景は、公園のようで微笑ましい。通路が広くて見通しがよく、ガラス天井から

## 新レジャー拠点レポート

### ニッケコルトンプラザ

所在地 千葉県市川市鬼高1-1-1  
電話 0473-78-3551  
概要 日本毛織が同社中山工場跡地に開いた複合ショッピングセンター。敷地面積142,200㎡、店舗面積29,800㎡。3階建ての専門店街(141店舗)と、4階建ての「いちかわプラザ」(ダイエー経営)とから成る。敷地内にはダスキンの経営するサーカスレストラン「カーニバルプラザ市川スタジアム」他、5つのファミリーレストランや、テニスコート、神宮の森などもある。駐車場には2,300台の車が、駐輪場には3,500台の自転車が収容できる。  
営業 午前10時～午後8時30分(物販)  
オープン 88年11月25日(金)  
取材日 88年12月5日(月)

採光するなど、アメリカのショッピングモールを彷彿とさせる。

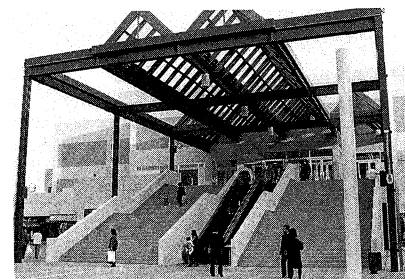
専門店街は2階(1階は駐車場なのでここが1階のようなものだが)は婦人服が中心で、三愛、アイマリオ、キャビンといったメンバーが顔を揃える。いわゆるDC系は少なく、トラッドっぽい店が多く、特に目新しさはない。3階は子供服がかなり充実しており、マーケットの性格を表している。バッグの専門店ではシャネルも売っているが、「お手を触れないで下さい」という札がついていたのがおかしかった。

プラザの方とはいうと2階の食品売場が圧巻である。いわゆる百貨店型のデリカではなく、巨大スーパーという感じで、入り口に置かれたショッピングカートの数だけでも圧倒される。ダイエー最大規模という3,300㎡の売場はゆったりとしていて、品揃えも充実している。肉売場もパックされたものが中心だが、それだけで売場壁面の半分近くを占めている。漬物や味噌も種類が豊富で、洋酒なども非常に安く、中を歩くのが結構楽しい。

それに引き替え、3階のファッ

ョンフロアはいかにも「郊外向け」という感じで、銀座のプランタンとは違ってかなりダイエーっぽい。ひと気がなかったせいもあるが、今ひとつという感じ。4階はホームセンターという感じで、オーディオからインテリア、寝装品などが見通しのいい天井の高い売場にズラリと並ぶ。

屋上と3階の2カ所に遊戯施設があるのも特徴的で、屋上の遊具はかなり充実していて子供だったら本当の遊園地だと思ひ込みそう。3階のプレイランドは半分くらいゲーム



広々としたメインエントランス



実際に壮观。この他にさらに屋内駐車場もある

周囲のレストラン群もTDL調。まだ工事中だが水を使った演出も凝っている



近隣ティーンズの遊園地

センターになっているが、ここだけ他の売場では見掛けなかった小中学生の男の子が群がっていた。

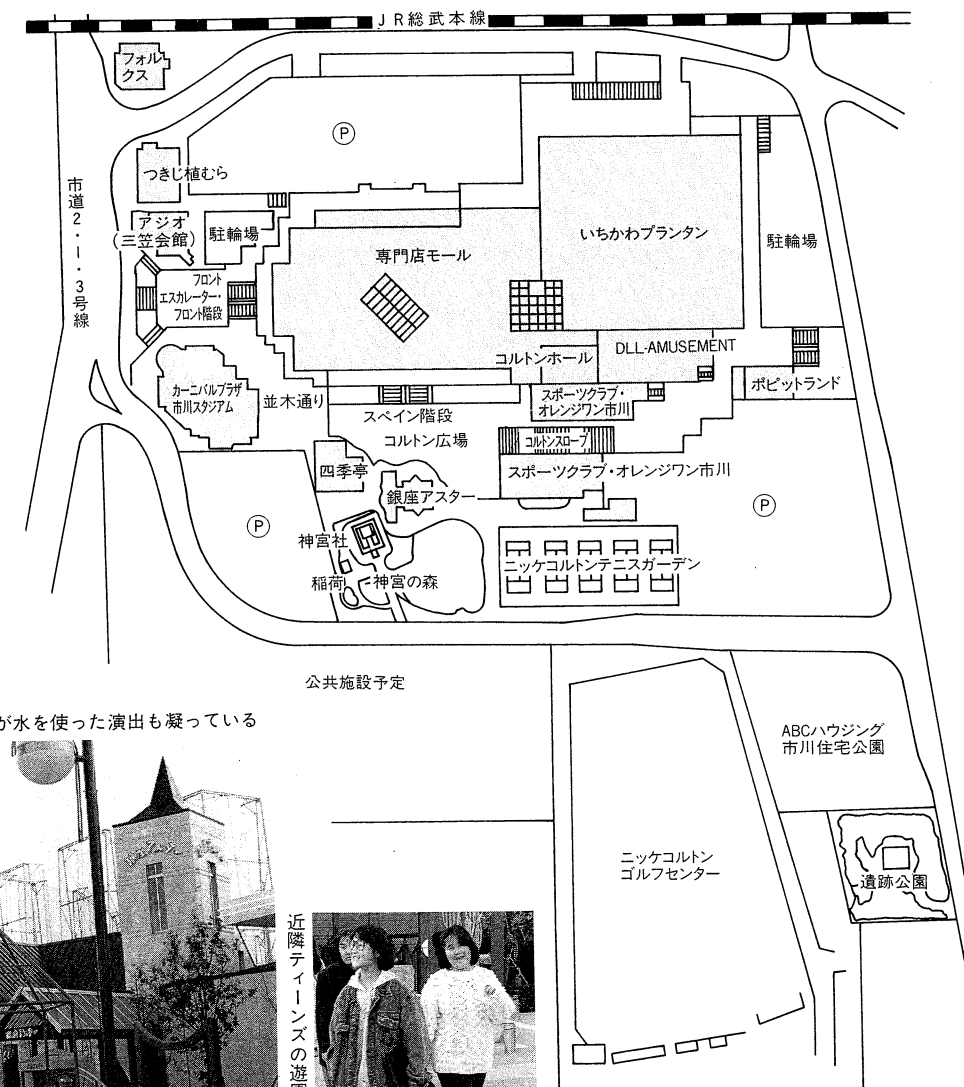
### 遊園地がチバの新しいアイデンティティとなるか

平日だったせいか50歳すぎのオジサン、オバサン、6歳以下の子供、高校生がチョロチョロいるといった感じだが、日曜日に車で、買い物がてら遊びにくるにはピッタリの空間だといえる。

同じ郊外でも、横浜市や多摩市な

ど第四山の手比べ、ややイメージが悪い市川という立地に存りながら、このニック・コルトンプラザはかなり健闘していると言える。客層を見ても子供がまだ小学校低学年以下の家族連れが多く、3世代でも、おばあさんがまだ50代という感じで、全体的に第四山の手より若い。第四山の手のちょっと気取った雰囲気とは違った、カジュアルで遊園地的な楽しさはTDLに近い地域としては賢いアピールの仕方だといえるだろう。

■佐久間、船津



公共施設予定



## CARNIVAL PLAZA

### ファミリーレストラン感覚のショーアップディナー

ニックコルトンプラザ右手の一面に、かわいい紺色の建物がある。屋根には3つの丸いドームと三角形の小旗がはためき、周囲は2m程の木々に囲まれている。この建物が「カーニバルプラザ市川スタジアム」だ。ショッピングにきた女子中高生や、親子連れもこのディズニーランド風建物に思わず足を止め、小さな子供を連れた母親などはその前で記念撮影をしたりしている。

まず建物のデッキ部分に足を踏み入ると、すぐ左手にはポップコーンを売ってくれる洋風屋台がある。そしてその先にはアヒルショーの小さな舞台があって、マイクを持った調教師のお兄さんが元気に声を張り上げている。そしてそのまま道なりに進むとエントランスが現れ、店の人達が紺色の制服を着て出迎えてくれる。

中に入ると正面に小さな橋があって、それを渡るとシーフード、バーベキューなど3つの味覚のゾーンに分かれた受付に通じる。1、2階は吹き抜けだ。近くでは辻音楽師の手回

しオルゴールの音が流れている。天井から空中ブランコのつり革が下がっているのがサーカス小屋っぽい。そして左手には池が、その奥には池を囲むようにテーブルがしつらえてある。まるで入江に面した海岸通りといった感じなのだ。

舞台は池の上にさり気なく設けられ、ピエロ達が手品を披露してくれる。ショーは午後6時、7時半、9時の3回。見られる席は限られている。奥にある見えない席も、広めのテーブル、段差をつけたフロアーが楽しいが、やはり舞台周りの席は人気が高く、ショー直前に行くとき座れない。かなりの盛況ぶりだ。

ショーの合間には、ピエロがテーブルを歩きまわって話しかけてくれたり、奇抜な衣装を着たお兄さんが写真撮影にきたり、と飽きさせない。天井には星座がまたたき、流れ星も流れる。かと思ふとスコールのように突然雨が降り出し(池の上のみ)、岩肌の壁からは大水が流れて滝になったりもする。ショータイムだけでなくレストラン全体が「ショー」

**カーニバルプラザ市川スタジアム**  
所在地 ニッケコルトンプラザ内  
電話 0473-79-2211  
概要 ダスキンが開いたサーカスレストラン。米国、中国、フランスなどから招いたピエロ達の芸を見ながら食事出来る。延床面積は2,553㎡、2階建て。1階はシーフードホール400席、シーサイドラウンジ&バー170席、2階はバーベキューホール330席。

という感じだ。

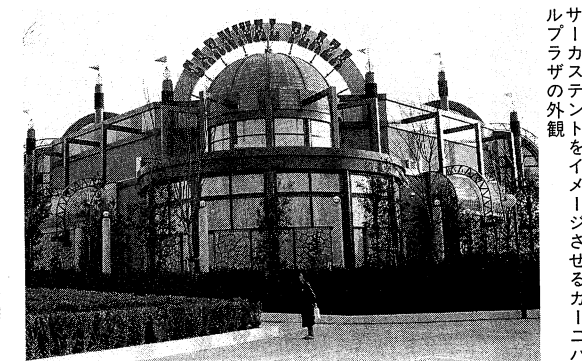
観客は会社員4~5人のグループや、小さい子供を連れた子供連れが多く、カップルは少なめだった。ショーの内容は毎回違うようだが、子供連れが多いせいか、一回観ると帰ってゆくテーブルが多く、客の回転は比較的早いようだった。スパゲティが、700円など内装のわりに食事の値段はリーズナブルに押えてあるので、ファミリーレストラン感覚で気軽に来られる。1日ばかりでTDLに行く元気がないお父さんには格好のエクスキューズになりそうだ。



プランタンの巨大な食品売り場



客層は実にさまざま



サーカスレストランをイメージさせるカーニバルプラザの外観



吹き抜け空間では子供が駆けまわる